

議会 assembly

御船町議会議長

田中 隆敏



行政 administration

御船町長

山本 孝二



「町民に開かれた」「町民とともに歩む」 「行動する」議会を目指します

明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、明るい新春をご家族そろって迎えられたこととお喜び申し上げますとともに、日ごろからの議会活動へのご理解、ご支援に心より深く感謝申し上げます。

町民の代表である町議会は、主権者である町民とともに、町民にとって身近な存在となるように議会改革を推し進めています。その一環として、「議会報告会」を一昨年に続き2回目の開催をしました。皆様からいただいた意見、提言などを全員協議会で協議しました。また、要望などがあつた現場に向き、状況を確認した上で町執行部に提言しました。

また、これまで取り組んできました議会改革を再確認し、町民の皆様とともに歩む議会をさらに明確にするため、「御船町議会基本条例」制定に向けた御船町議会基本条例シンポジウムを昨年11月29日に開催しましたところ、約450名の参加をいただき盛大に催すことができました。

「御船町議会基本条例」は、「町民に開かれた」「町民とともに歩む」「行動する」議会を念頭に、高潔性を持ち、町民に信頼される議会を目標としています。そこで、「御船町議会基本条例」制定に向けた住民との意見交換会を

日本一元気な町の実現に向けて

明けましておめでとうございます。町民の皆様には、輝かしい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より、行政運営にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

昨年は、夏の衆議院議員総選挙で各党のマニフェスト（国民との約束）による選挙戦が繰り広げられ、民主党連立政権が誕生しました。各党の政策論争が連日マスコミなどで取り上げられ、マニフェストという言葉も広く国民に浸透してきたようです。

そのような中、御船町はマニフェスト型行政運営を宣言し、今年で4年目を迎えます。目標を明確にし、実行するマニフェストは、まちづくりを進める上で透明性があり、後から有権者がチェックできる評価・検証に非常に優れた「道具」であると言えます。

昨年は、マニフェストの取り組みの一環として、給食センター建設の意思決定において、町民主体の実行委員会を設立し、判断の基準となる報告書を作成していただきました。大型事業の意思決定で、住民の意見を取り入れる一連のプロセスの基本ができたと思います。

また、スポーツセンター指定管理者移行に向け、フネツピースこやかスポーツクラブが地域づくりフォーラムを開催するなど、自主的な活動に将来が期待できる一方で、今年7月には、



御船町議会15名は一丸となって「御船町議会基本条例」制定を目指しています

第2回全国総合型スポーツクラブ大会が当町で開催されることとなり、更なるスポーツ振興を図っていきたいと思います。

議会におきましても、議会基本条例制定に向け、シンポジウムを開催するなど、議会のあり方について検討中です。そのほか、各嘱託区、商工会など自主的な活動が目立ち、町民、議会、行政のそれぞれが活発化し、御船町が地方分権時代における元気な町へと変化しています。

本年は、ソフト事業として、協働まちづくり条例の制定、総合計画、環境基本計画の策定をします。また、ハード事業では、町内全域に光ファイバー網の整備、シンボルロードの整備、御船小学校の改築などを行います。このように、重要施策が数多くあり、御船町が大きな変化を遂げる激動の一年になると思います。

今年も町民参画により、条例制定、計画の策定などを実行していかうと考えています。ぜひ、皆様にも町政に関心を持っていただき、「日本一のまちづくり」を互いに目指していきたいと思っております。

最後になりますが、どうか、皆様にとつて実り多きすばらしい年であることを祈念申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。

1月30日と31日に実施します。ぜひ、多くの町民の皆様のご参加をお願いします。

町は、学校建設など、さまざまな課題が山積しておりますが、議会は、町民の皆様とともに魅力ある住みよいまちづくりを推し進めていきたいと考えています。

最後に、本年が皆様におかれまして希望に満ち溢れた年となりますことを祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。